

古瀬浩史 ふるせこうじ

日本インタープリテーション協会
帝京科学大学



日本インタープリテーション協会
Association for Interpretation Japan

この時間の話題

「テーマ」ってなに？

インタープリテーション

- 国立公園等の来訪者と、地域の資源が持つ意味や価値との間に、知的、感情的なつながりをつくる
- インタープリテーションは「触発」すること・

国立公園 観光地域 のインタープ リテーション



ガイドプ
ログラム

自然体験
アクティビティ

(観光案内所)

ビジター
センター

案内

展示

おみ
やげ

印
刷物

SNS

景勝地／園地

セルフガイド

ネイチャート
レール

野外サ
イン

ミュージアム

インタープリテーション

- 国立公園等の来訪者と、地域の資源が持つ意味や価値との間に、知的、感情的なつながりをつくる
- インタープリテーションは「触発」すること・

インタープリテーションの、基本的な方法は・・・

「体験」と「ストーリー」

のうながし

の共有



国立公園のブランドプロミスとブランディング活動の関係

ブランドメッセージ

その自然には、物語がある。

提供価値

多様な自然風景と、生活・文化・歴史が凝縮された物語を知ること、忘れられない唯一無二の感動や体験ができる。

ブランドプロミス (国立公園が来訪者・地域に約束すること)

- 1 感動を与える美しい自然風景
- 2 サステナビリティ
- 3 自然と人々の物語を知るアクティビティ
- 4 感動体験を支える施設とサービス

ブランディング活動 (ブランドプロミスを実現し続けるため、環境省が地域・関係者と一緒に取り組むこと)

- ①自然・生活・文化・歴史を把握し、物語(ストーリー)を明らかにし、保護と利用の方針を定め、行動計画を作成します。
- ②地域のコーディネーターとして、地域の多様な主体と一体となって公園管理や魅力の発信に取り組めます。

③自然の風景や野生生物、生態系を保護・再生します。

④利用者負担による保護管理へ還元する仕組みづくりや、利用のルール、限定体験の提供などに取り組めます。

⑤脱炭素化や地産地消などに取り組み、持続可能な地域づくりに貢献します。

⑥物語(ストーリー)に沿った魅力的な自然体験コンテンツと体験コースをつくれます。

⑦集団施設地区・温泉街等の利用拠点の魅力向上を図ります。

⑧魅力的な利用施設の整備・管理を進めます。

⑨統一したメッセージ、デザインを活用し、国立公園に関する情報を広く発信し、認知拡大に努めます

インタープリテーション

- 国立公園等の来訪者と、地域の資源が持つ意味や価値との間に、知的、感情的なつながりをつくる
- インタープリテーションは「触発」すること・

インタープリテーションの、基本的な方法は・・・

「体験」と

のうながし

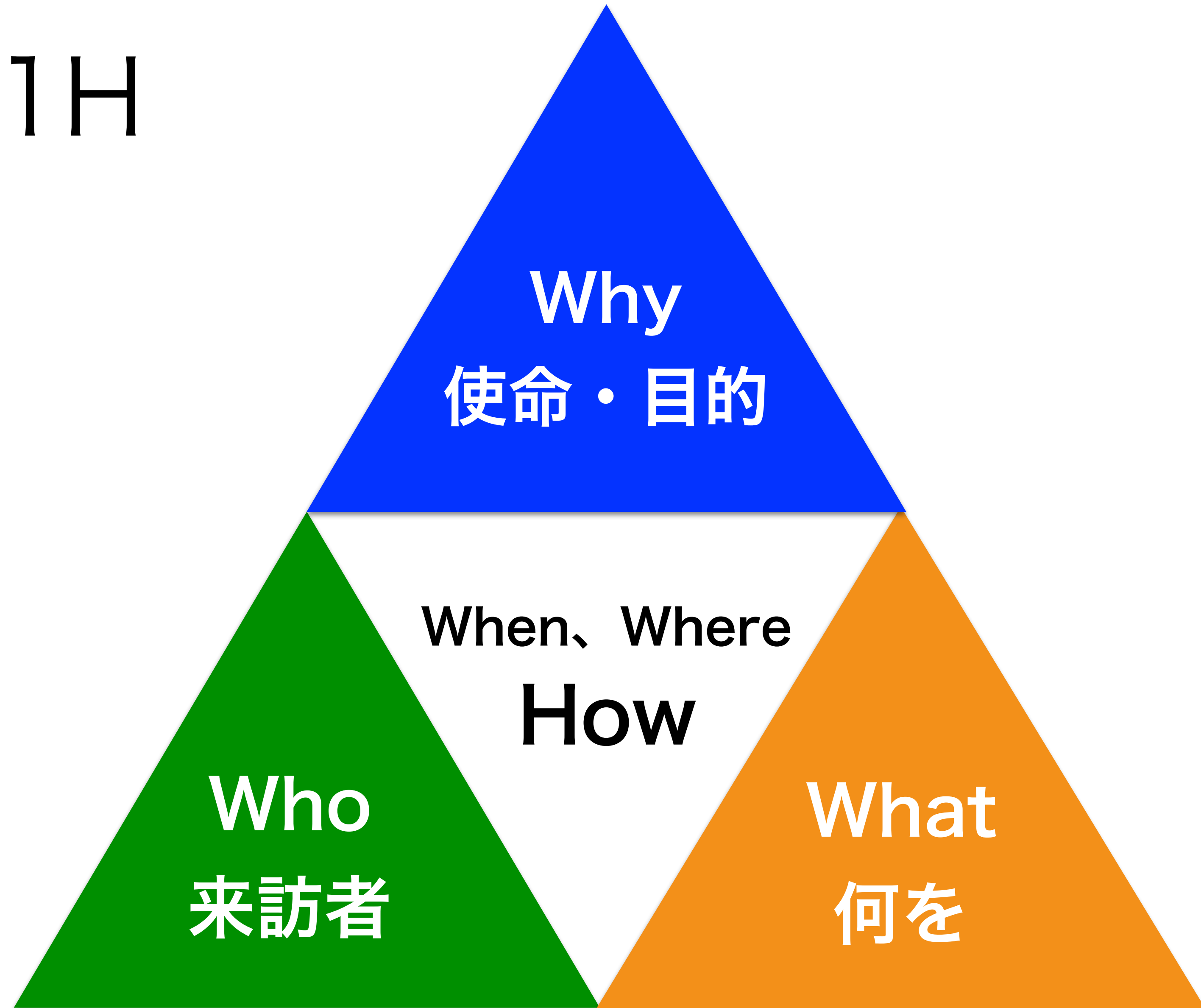
「ストーリー」

の共有

テーマ

企画の5W1H

何のために
いつ
どこで
だれが
だれに
何を
どうやって



IP全体計画の 基本的な構成

Why（なぜ）：使命・目的

What（何を）：扱うモノやコト

- ・ **重要な資源**：地域の重要な資源のリスト。

- ・ **テーマ**：メッセージ／ストーリー

- ・ **望まれる来訪者の経験**：

ビジターにどのような経験や体験をしてほしいか。

ストーリー

体験

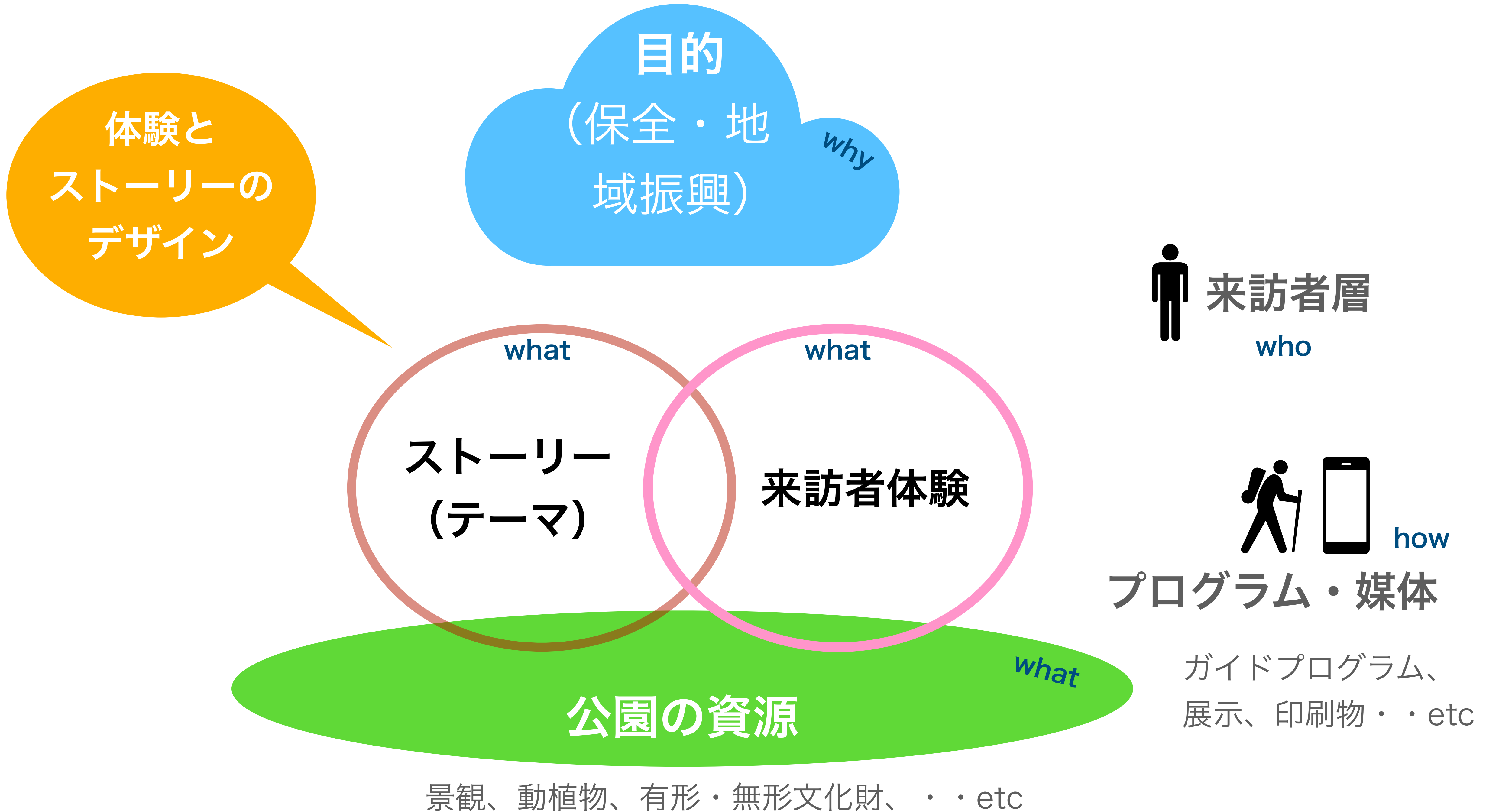
Who（だれに）：利用者の類型と分析

どのような利用者が来ているのか、あるいは来ていないのかを整理し、ターゲットを想定する。

When Where（いつ、どこで）

How（どうやって）：具体的なメディア

インタープリテーションのメディア（プログラム、展示、印刷物などの媒体）をリストアップする。



テーマ とは？

来訪者に伝えたいメッセージ（Take Home Message）

来訪者と共有したい地域の「ストーリー」

- 「テーマ に基づいたインタープリテーション」
は、現在のところIPの基本とされている。
- テーマは個別のプログラムと全体計画を関連付けている

テーマ ≠ トピック（話題）

（テーマはトピックではない）

テーマ ≡ メッセージ

テーマ ≡ ストーリー

小賀玉おがたまの木

木蓮科に属する常緑喬木、わが國西南部の暖地に自生、高さ十八米に達する。

御覧の如く樹皮は暗緑色で平滑。葉は長楕円形、光澤ある革質、春になると葉液にやや紫色を帯びた白色の花を開き、芳香を有す。果実は集つて球果狀をなし、枝は床柱や器具とし、葉は香料に用ひる。

蚕に桑の木がある如く、帝揚羽（ミカドアゲハ）の幼虫はオガタマの葉を食べて生育する。尚ほ古代に於ては祭儀に用ひられ、「さかき」の本物はこの木だとの説もある。

名称は「招霊木」オギタマの木の転訛したものと云はれ、御神霊を招積たてまつる尊貴木の意味で、当中土佐町の大野部落を中心に神社や民家、更には雑木林の中に自然木として自生し、この樹のやうに推定樹令二百年を越へる大木もある。

THE SMALLEST HELP

THE LARGEST

Long-horned beetle,
Phymatodes nitidus,
actual size 1/8".



小さな生き物が、巨大な生き物を助けている

Two animals play critical roles in the life cycle of the giant sequoia. The chickaree or Douglas squirrel is the more visible. The chickaree does not eat the seeds of the sequoia, but rather the green, fleshy, highly nutritious cone scales. While eating the cones, the squirrel dislodges the many tiny seeds, allowing them to disperse.



Also aiding the sequoia's regeneration is the tiny, inconspicuous wood-boring beetle, *Phymatodes nitidus*. It tunnels through the green cones causing the flesh to dry. The cone's scales then shrink and the seeds loosen and fall.

Nature is often full of surprises. In the relationships that have evolved among the massive giant sequoias, these two animals, and fire we find a truly amazing surprise.

A mature sequoia can produce
1,500 cones a year. With 200
seeds per cone, that translates
into a tremendous seed source
available for release by the
Douglas squirrel
and the

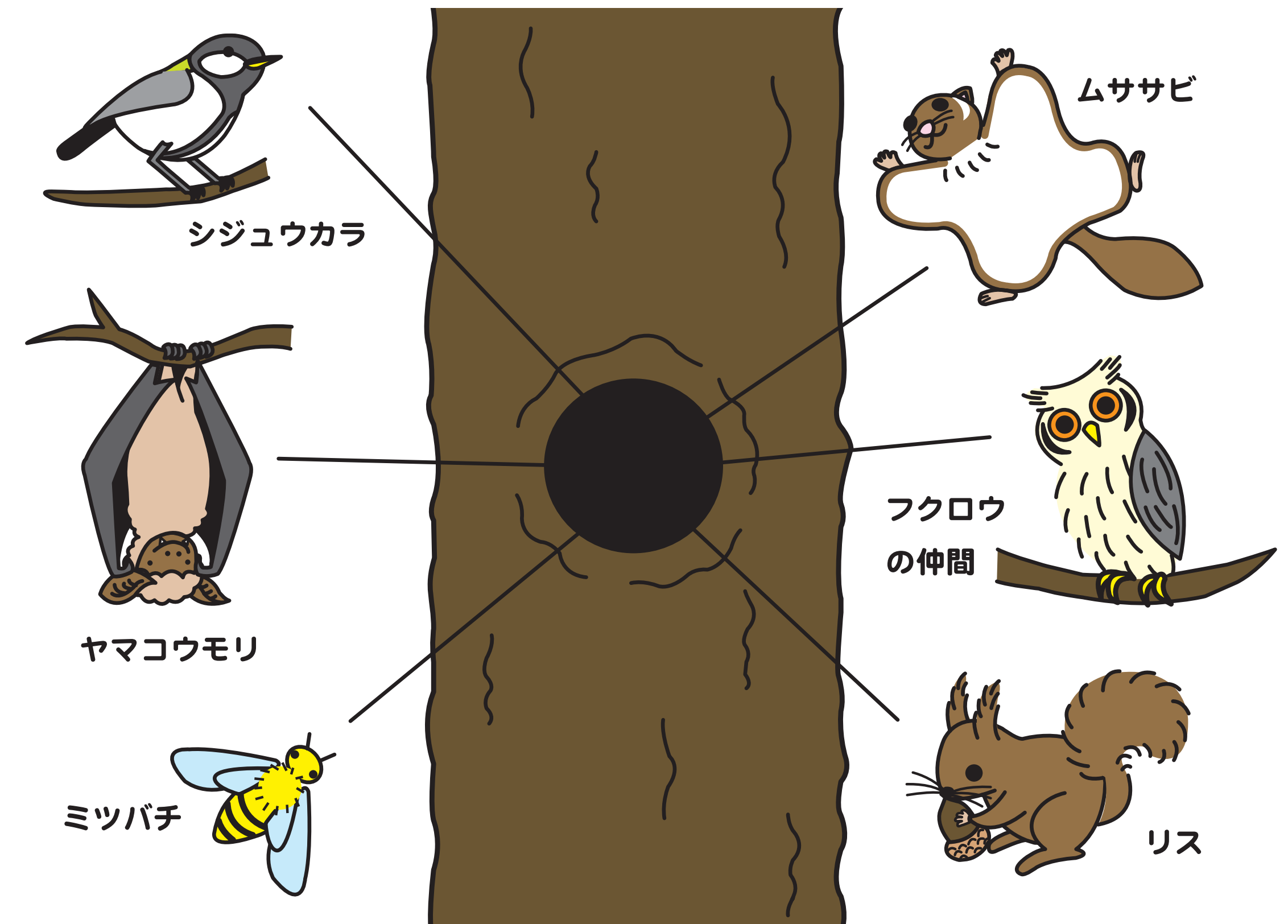
例

「トピック」=話題（の範囲）

動物によるキツツキの巣穴の二次利用

「テーマ」=メッセージ=ストーリー
「平叙文」で書かれる

キツツキは、他の様々な動物の住処
（すみか）を創り出す、生態系の
『エンジニア』である。



「平叙文」の特徴

- 疑問文のように「？」で終わらない
- 主語で始まり「。」で終わる
- 「体言止め」をしない。

トピックで構成された展示の例

展示コーナーA「〇〇山の生きもの」

展示1：〇〇山の昆虫

展示2：〇〇山の植物

展示3：〇〇山の動物

．．．．．

展示コーナーB「〇〇山の地質」

展示1：〇〇山の地誌

展示2：〇〇の地層断面

．．．．．

展示コーナーC「〇〇山の歴史」

展示1：縄文時代

展示2：弥生時代

テーマで構成された展示の例

展示コーナーA

「〇〇山の独特な景観は、自然と人の長い営みによって創られた」

．．．．．

展示コーナーB

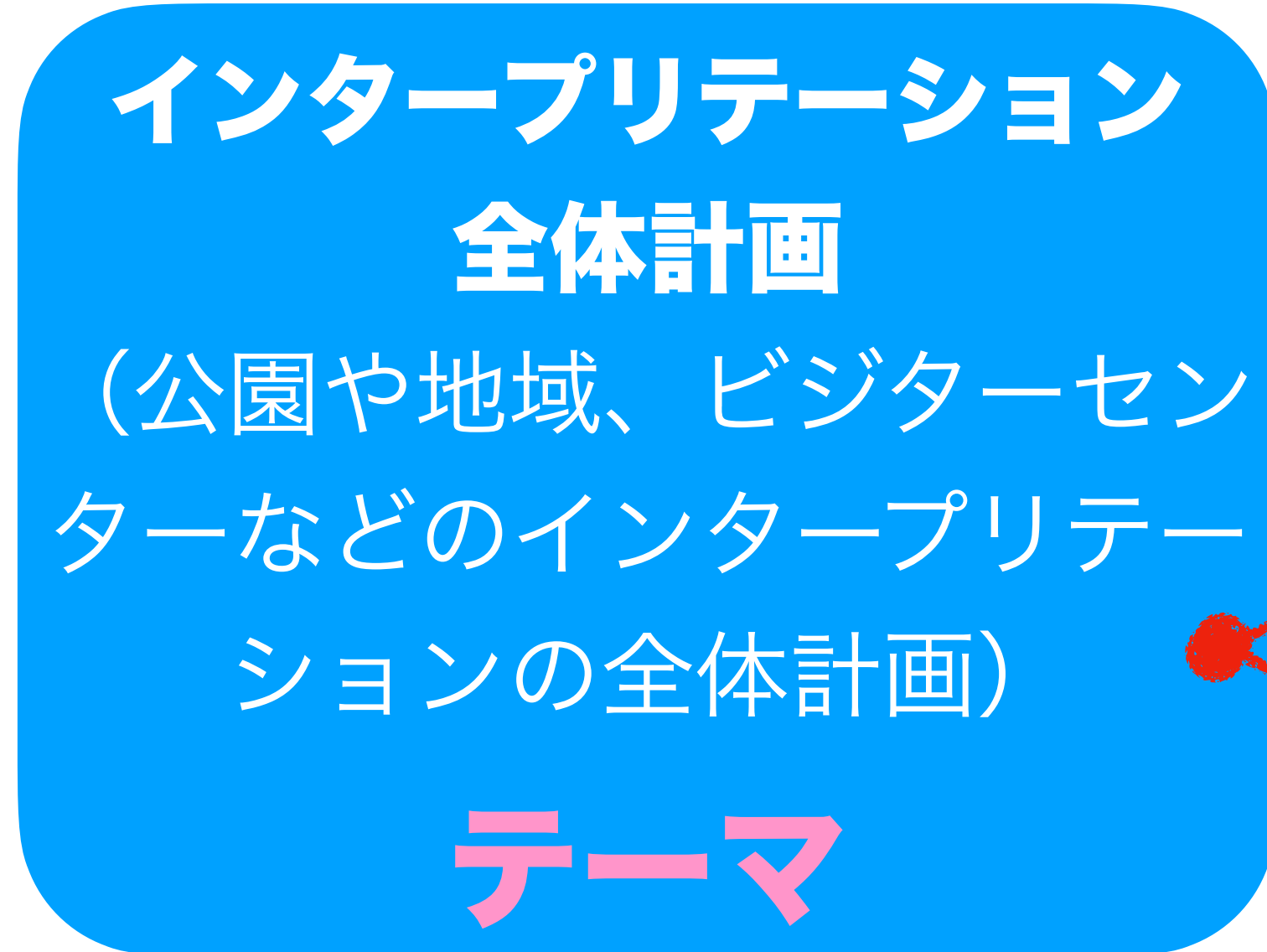
「〇〇山の生き物たちは、互いに関わりながら生きている」

．．．．．

展示コーナーC

「〇〇山の自然の守るための、多くの人たちの活動がある」

- テーマは個別のプログラムと全体計画を関連付けている



ミズナラは多くの種類の動物に
栄養を提供し森の生き物たちを
支えている一方、巧みに動物を
利用して、種子を散布している。



キツツキは、他の様々な動物に
「すみか」を提供する生態系の
『エンジニア』である

- ・ 多様な種や個体が競争しながら関
わり合い、つながっていきている。

(事例：那須平成の森インタープリテーション計画)

テーマの記述事例

「東京都高尾ビジターセンター」

高尾山は、世界的な大都市である東京の都心部から最も近い山でありながら、千年以上も前より、それぞれの時代の人々の想いによって守られ続け、今もなお日本有数の生物多様性を残している。

「ヨセミテ国立公園」

ヨセミテの複雑でダイナミックな地質学的プロセスは、極めて多様で変化に富んだ景観を作り出しており、世界有数の風景と重要な科学研究の機会をもたらしています。

テーマ（まとめ）

- 来訪者に伝えたいメッセージ
(Take Home Message)
- 来訪者と共有したい地域の「ストーリー」

テーマ文の作文のポイント

- 「平叙文」で書く
(疑問形や体言止めでなく、「・・・です。」で終わるような文)
- 「触発」されるような魅力的な文章で・・・(できるだけ)
- 単なる説明でなく、意味や価値を含む。
- ガイドや解説の最後のまとめに言いそうなこと・・・